



学校教育目標 「自ら考え行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる
~つながる力・まなぶ力・つくる力~

No.7

庄内西小学校だより

令和7年(2025年)7月18日発行

校長 黒木優一



カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』をご覧ください。

明日から 夏休みです

大きな事件や事故もなく、無事に1学期が終わりました。保護者の皆様のご支援ご協力には、心から感謝しております。明日からは長い夏休みに入ります。熱中症に気を付けながら、楽しく有意義に過ごしてほしいと思っています。

残念なことに、今年も、悲しい水難事故のニュースが、たくさんながれてきています。夏休み中は、川や海、プールなどにおでかけされるファミリーも多いかと思いますが、水の事故には十分気をつけていただきたいと思います。万が一、溺れそうになった時、溺れている人を見た時、どうすればいいかということ学ぶために、プール納めの日に、高学年が「着衣泳」を行いました。服を着たまま水に落ちると思うように泳げなくなることや、空のペットボトル一つあれば楽に浮けることなど体験することで、水の怖さと身の守り方を知ることができました。

「UITEMATE(浮いて待て)」

世界中でも注目されているこの言葉は、命を救う合言葉となっています。たった25m程度しか泳げなかった男性が沖に流された際、「浮いて待った」結果、22時間後に40km離れた海岸で救出されニュースになりました。泳ぎに自信があっても、岸にたどり着く前に体力を消耗し亡くなってしまう場合も多くあります。

溺れそうになった時には・・・

- ・手足を大の字に広げる
- ・靴ははいたまま。軽い靴は浮き具代わりに
- ・大きく息を吸い、空気を肺にためる。
(あごを上げて上を見ると呼吸しやすい)
- ・手は水面より下に。
(ペットボトルなどがあれば胸に抱える)
- ・水に落ちても服や靴は脱がない。
(浮力になるし、服は体温を保ってくれる)



★とにかく「浮いて待つ」のがポイントです。

「ライフジャケットは海や川のシートベルト」

海や川では、水に入らなくても、足を滑らせて転落することもあります。水難事故のほとんどはライフジャケットさえ着けていれば防げた可能性があるそうです。言わば、ライフジャケットは「海や川のシートベルト」。海や川でのレジャーの際には、ぜひ着用しましょう。



☆のびゆくこどもについて☆

本日、お子さんに「のびゆくこども」を渡しました。「のびゆくこども」は、子どもたちの学校での学習や生活のようすをお知らせし、学校と家庭が協力して望ましい方向に育てるための手がかりとするものです。子どもたちの頑張りや、努力を認め、今後の取り組みへの励ましや勇気づけのために作成されています。

- ・学期ごとに、封筒に入れてお渡ししますのでご確認ください。
- ・封筒は、**中身を抜いて** 2学期の始業式に持たせてください。

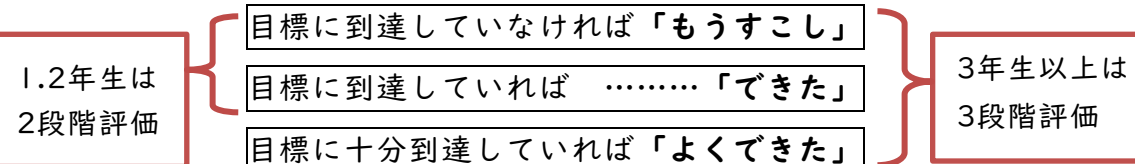


のびゆくこどもの見方



[学習のようす]

各教科の観点ごとに学習目標をたて、テストだけでなく、日頃の授業態度や発表の様子、ノートまとめ方など、総合的に判断し、評価しています。



に、○がついています。

[特別の教科 道徳]

具体的な学習状況や、1年間を通した道徳性に係る成長の様子などについて3学期に記述します。

[総合的な学習の時間(3~6年)・外国語活動(3,4年)]

1年間で特にがんばって取り組んだ内容や、どんな力を身につけたかななどについて、3学期に記述します。



[行動の記録]

学校生活の中の様々な場面において、毎学期、特に良くできていた項目**2つ**に○がついています。

[先生から]

学校生活全般にわたって、お子さんが頑張っていたところや輝いていた場面、さらに期待することなどを、担任や関わりのある先生が、子どもたちに向けて3学期に記述します。



2学期の始業式は **8月25日(月)**

4時間授業(給食なし)で、12時30分頃下校します。

持ち物については、学年だよりで確認してください。

